

## つきさっぷ町連だより

【月寒地区広報誌 第17号】

発行日：令和5年2月24日

発行元：月寒地区町内会連合会（町連）

豊平区月寒中央通7丁目8-19

月寒まちづくりセンター内

電話・ファクス 852-9288

## 新しい年に願いをこめて

月寒地区町内会連合会会長 山田 重孝



ワークショップで挨拶する山田会長

飛躍の干支と言われる卯年が明けた。1月初旬は比較的穏やかであったが中旬以降は気温が急降下、10年に一度の大寒波襲来で九州まで雪に見舞われた。暦も2枚目に入り、立春が過ぎて少しは春めいて来るかと思いきや、寒波は居座り続けた。一方、「さっぽろ雪まつり」が3年ぶりに開催され、久々に観光客で賑わった。コロナ疲れから一時解放され思いきり羽を伸ばし楽しんで帰られた方も多かったようだ。パートナーシップ除排雪も今年は順調で、私の町内会は例年の半分、1日半で終了した。道路が広く気持ちがいいと思ったのも束の間、翌日にはしっかりと雪。今年は春の訪れが遅いかもしれない。5月から新型コロナの分類が引き下げられ、マスク着用は3月中頃から大幅に緩和されるという。種々の制約が外され自由にはなるけれど、感染力が極端に弱くなるわけではなく、今まで通り感染予防の手順を踏んで過ごそうと思うが、皆さんの動きをじっくり見てから考えることにしたい。

「町内会ささえあい条例」が制定され、札幌市は町内会加入促進に向けた取り組みや周知に注力している。助成金や奨励金も引き上げられ、町内会活動の支援強化が図られている。そんな中、町連各部長さん方も予算編成・事業計画に取り組んでいます。ここ3年間は通常の活動が出来なかったので少しでも遅れを取り戻したいと頑張っています。会員の皆さんの御協力をよろしくお願いいたします。

新型コロナ拡大前の状況に戻り、いろんなイベントが開催され、マスクもせず大きな声で話ができ、和気あいあいと過ごせる日が早く来るよう、力を合わせて頑張りましょう！

## 『子育てしやすい・子どもにやさしいまちづくり』とは

スタートアッププロジェクト  
ワークショップ開催▲2つのグループに分かれて  
意見を出し合いました

町連では、『2031 月寒まちづくりビジョン』策定後、札幌月寒の暮らし紹介サイト「つきさっぷ」を開設し、月寒地区の情報を広く発信しています。

今後、ビジョンに掲げる基本方針にある「子育てしやすい 子どもにやさしいまちづくり」を推進するために、子どもや若い世代をターゲットとした取り組みを具体化していくこととなります。そのために「つきさっぷ」を活用して“つながり”を創出していくのですが、そのためには何が必要なのか、どんな情報を知りたいのかなど、日ごろから感じていることについて話し合っていました。

月寒地区福祉のまち推進センター（通称「福まち」）が実施する子育てサロン「あんぱんさろん」を利用する10組の親子の皆さんが参加して1月26日午前10時から開催されたワークショップでいただいたご意見の一部を紹介します。【2面につづく】

スタートアッププロジェクト  
ワークショップ開催



▲当日は託児スペースも設けられました

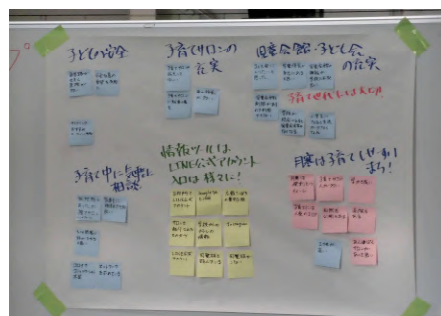
どんな情報を、どんなツールで…

- 【ポイント1】子育てしやすいまちにするために求められること
  - \*子育てサロンが充実していて、子どもを預けやすい環境
  - \*短時間でも見てくれるしくみがあると良い
  - \*目が届く託児スペースがある行事や施設があると良い
- 【ポイント2】子育て世代が求めているまちの情報
  - \*子どもが受診できる小児科以外の病院の情報がほしい
  - \*駐車台数など子育てサロン場所の詳細情報が知りたい
  - \*月寒公園の行事などレクリエーションに関する情報があつたら良い

【ポイント3】つきさっぷの閲覧数を高めるための SNS の活用

- \*LINE や Instagram をよく使うので、この2つを活用してはどうか
- \*二次元コードを回覧板や会場に掲示して周知すると良い

今回のワークショップは、皆さんから直接ご意見を聴く貴重な機会となりました。今後、こうしたご意見を基に、みんなが住みよいと感じられる「月寒」、そしてそのツールとしての「つきさっぷ」を皆さんと一緒に創造していければ、と思っています。



▲参加者から出されたたくさんのアイディア

多世代交流の居場所作り ～コミュニティサロン紫苑「シオンdeごはん」

カラオケ居酒屋として長年地域に親しまれてきた『紫苑』（月寒東3-7）。2021年末、コロナ禍などによりお店の縮小を余儀なくされましたが、これを期に、オーナーの佐藤ふさ子さんが夢見ていた“サロン”の開設を決断。翌年、地域の皆さんが活動・交流できる居場所として生まれ変わりました。その実現にあたっては、ご主人の理解と協力も大きかったようです。

健康料理教室のほか、男性の引きこもり課題に取り組むべく介護予防教室としての健康麻雀を開催。その後、関係機関から子どもやお年寄りの孤食や調理が出来ない高齢男性の話などを聞き、昨年11月から月1回の「地域食堂」を始めました。取材の日は、ちらしを見たという人や友達の紹介で知ったという人など多くの方が来訪、持ち帰りを含む70食が1時間程で完売する盛況ぶり。利用者からは、「いつもは子ども優先だが、ここでは地域の人子どもを見てくれて安心して食べられる」



▲所狭しと利用者で溢れている室内



▲たくさんのちびっ子たちが地域の“愛情”を頼っていました

「会話を聞くだけでも楽しい」といった声が聞かれました。紫苑ではお弁当を配達、直接手渡ししながら声を掛け、見守り活動も行っています。「感染対策をしながら、交流ができる新しい居場所作りを心がけています。お茶だけでもお気軽にどうぞ」と佐藤さん。“もったいない”から“ありがとう”へつなぐ、そんな想いで行っている活動を支えているのは地域の皆さんです。調理や食材提供なども皆さんの協力があつてこそ。「自宅に眠っている食べきれないものがあつたらぜひお寄せください」とも。

開催日や料金、食材提供など活動についてお知りになりたい方は佐藤さん（080-1886-1313）までご連絡ください。



# 親子で気軽に遊べる サロンへ行ってみませんか？

## 「ちあふる・とよひら」ってどんなところ？

月曜日から土曜日の9時～17時

保育園と子育てサロン「りんごのへや」を併設し、さまざまな子育て支援に関するサービスを行っています。

「りんごのへや」には、子育てに役立つ情報が盛りだくさん！子どもたちが楽しめるおもちゃもさまざまあり、中でも手作りおもちゃは必見。たくさんの子育て中の親子が毎日集い、にぎやかに過ごしています。

親子の交流はもちろんですが、保育士が常駐しているので、子育ての悩みや不安をお話できる子育て相談を受けています。また、年齢に応じた遊びの紹介や関わり方などをお知らせする子育て講座の開催、絵本やペープサートなどのお楽しみがいっぱい！

第3日曜日は、地域のボランティアさんも参加してサンデーサロンを開催（10:00～12:00）、子育てパパもぜひ御参加ください。【月寒東1-4-2-11】



正式名称は「豊平区保育・子育て支援センター」



曜日替りていろいろ！読み聞かせもやっています

## 「ねっこぼっこ」ってどんなところ？

「子育て中の家族の第3の子育ての居場所となるように」と2007年から地域のみんなが育ち合いのできる場づくりをしてきました。2012年からは札幌市の地域子育て支援拠点の指定を受けて運営、特色は“多世代多様”です。お子さんだけではなく、どなたでも御参加いただけます。

3年前に今の場所に移転しましたが、コロナ禍で周知が出来なかったとのこと。やっと身近な地域の方々にも知らせてもらえるようになり、日々工夫を凝らしながら運営しています。

月曜は、「赤ちゃんひろば」

火曜・水曜・金曜・土曜は、「みんなのひろば」

第3金曜は、「おかえりひろば」（～午後8時）

そのほか、若者対象のひろばや学習支援の場も開催していますので、ぜひ足をお運びください。【月寒東3-6-4-1】

## 「あんぱんサロン」ってどんなところ？

月寒地区福祉のまち推進センター事務室で、親子で過ごせる「あんぱんサロン」が開催されているのをご存じですか？

毎週火曜日と木曜日に、スタッフと近隣の親子が遊んだりおしゃべりしたりしています。事務室内にあるので、初めての参加でもすぐに顔見知りになれる家庭的なサロンです。毎月第1火曜日は会場を月寒公民館（月寒中央通7-8-19）に移して実施。また、広い場所でのびのび遊べる「ワクワクあんぱんサロン」を年に一度開催しています。

開催日程は、ウェブサイトで確認ができます。お友だち同士お誘い合わせのうえ、一度遊びに行かれてはいかがでしょうか。【月寒中央通7-4-2】



あんぱんサロンでは子育ての先輩に相談も

各施設のウェブ  
サイトはこちら⇒



ちあふる・  
とよひら



ねっこぼっこ



あんぱんサロン



# LINE 公式アカウント、始めました！



2022年4月から、札幌月寒の暮らし紹介サイト「つきさっぷ」をオープンさせて、月寒地区の魅力や歴史、開催されるイベントなどの情報を提供しています。

これに加えて、2022年12月からは、LINEの公式アカウントを立ち上げ、LINEでも情報をお伝えできるようになりました。

お友だち登録をしていただくと、「つきさっぷ」の更新情報や月寒地区の最新情報を直接届けられますので、ぜひご登録ください。

登録は、左上の二次元コードを読み取ってお進みください。

## 「つきさっぷ」で情報をゲットしてみよう！

「近くに子どもが遊べる公園ないかなあ…」って、思ったことありますよね？そんな時は、ぜひ「つきさっぷ」にアクセスしてください。

月寒の魅力紹介のカテゴリーから「憩いのみどり」を選択。「地区内の公園」を選ぶと、月寒にある公園が地図上にすべて表示されます。そこから公園名や地図上の数字をクリック（タップ）すると、所在地の地図、投稿されている公園の写真を見ることができ、どんな遊具が設置されているのかなどを確認することができます。

公園で遊んだ後は、ぜひ「つきさっぷ」トップページの情報提供フォームから感想・情報などをお寄せください。



▲コードを読み取り  
早速アクセス

地区内の公園



▲気になる公園の詳細な情報が見られます

▲地区内の公園が地図上で一目瞭然

## 編集後記

今回はさまざまな「子育て活動」を主に特集してみました。少子化が叫ばれている中、地域でも子育て活動が実践されています。引き続き、町連としても大切な活動の一つとして取り組んでみたいと、いろいろ思考を巡らせています。ぜひ、お知恵を拝借させてください。

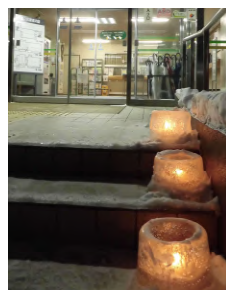
本号を編集している最中、3年ぶりに「さっぽろ雪まつり」が開催されていました。あと2か月で、これまでとは違う楽しみな春がやってくる、と心からそう思いたい。【ち】

## アイスクャンドルで温かく

### 「月寒まちの灯り」

「みんなのあったかい気持ちが灯る」というキャッチフレーズで札幌市商店街振興組合連合会が主催する「第16回まちの灯り」の一環で、月寒中央商店街振興組合が「月寒まちの灯り」を実施しました。

1月17日と21日の日没後、アイスクャンドルがつきさっぷ中央公園



や“洋次通り”などに並べられ、月寒のまちを温かく照らしました。

▼月寒公民館正面玄関前にも飾られました

## 気になる方や心配な方を見かけたら

### 相談窓口の御紹介

髪や服装が乱れている、話がかみ合わなくなった、同じ話を何回もする、そんな「いつも」と違うようになった方は周りに居ませんか？

こんな様子が見られるようになったら、お近くの窓口にてぜひ御相談ください。秘密を守りながら対応し、対象者に伝えることはありませんので、安心してお話しください。

### 【第3地域包括支援センター】

- \* 高齢者やその家族などからの相談
  - \* 消費者被害、高齢者虐待、介護保険 など
- ☎854-7777

### 【介護予防センター月寒】

- \* 比較的元気な高齢者に関する相談
  - \* 介護予防教室や地域活動のこと など
- ☎857-6110

### 月寒地区の”いま”

(令和5年1月1日現在)

人口：38,116人  
世帯数：21,729世帯  
町内会数：77町内会

TAK